

事業名	土地改良施設維持管理費	財務コード (事業)	070002
-----	-------------	---------------	--------

細事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業費
------	-------------------

担当部課室	農政 部 耕地 課 水利防災 担当 (内線)	5416
-------	------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H11 年度 ~ 終期 H26 年度						
実施主体	補助 (各土地改良区)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>国営事業により造成された土地改良区が管理している農業水利施設</td> <td>適切な管理が行われている</td> <td>優良農地の保全と有効利用</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	国営事業により造成された土地改良区が管理している農業水利施設	適切な管理が行われている	優良農地の保全と有効利用
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
国営事業により造成された土地改良区が管理している農業水利施設	適切な管理が行われている	優良農地の保全と有効利用					
事業の内容 主に 24年度	<p><b>事業概要</b>                      地域住民が享受している農業水利施設における農業生産面以外の水資源の涵養や地域の洪水防水など多面的機能について、地域における適切な取り組みを促進する観点から、地域住民、NPO等をはじめとする多様な主体の参画を促し、施設の管理ネットワーク作り(協定)を進め、農業水利施設の管理体制を整備する。                      管理計画更新、推進事業                      地域に応じた管理の体制、水準及び適切な費用負担のあり方を踏まえて、既管理体制整備の計画を更新していく。協定締結を図るため、多面的機能についての啓発を実施。また施設管理図面の電子化により改良区の管理の効率化を図る。(H24事業費:4,500千円)                      ・H24実績:PR資料を作成し、地域開催のイベント等に配布(イベント参加回数 6回)                      施設台帳の一部電子化(電子化率 20%)                      支援事業(施設の操作運転点検整備等)                      土地改良区が管理する農業水利施設の維持管理のうち、多面的機能に係る分(37.5%)について、国、県、市町村による支援を行い、土地改良区の管理体制の強化を図る。                      国営造成施設の管理体制整備強化のため、多面的機能に要する分として施設管理費等の一部を補助(H24事業費:58,950千円)                      補助対象率 37.5% 管理をすることによって得られる効果は、農業効果(1.0)の外に農業外効果(0.6)がある。(0.6/(1.0+0.6)=0.375)                      補助先:2土地改良区 補助率:10/10(国)5/10(県)2.5/10(市町村)2.5/10                      ・H24実績:パイプライン漏水修理やポンプの制御盤調整等、施設の補修・点検の費用に対して助成(補修箇所数 579箇所)</p>						
根拠法令等	国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱、国営造成施設管理体制整備促進事業補助金交付要綱						

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 推進啓発 施設の管理運転 等	22回 2改良区	22回 2改良区	22回 2改良区	22回 2改良区	22回 2改良区	目標設定の考え方 管理協定を締結する2改良区のすべての箇所において1回啓発活動を実施するとともに、施設の操作運転点検整備等を実施する。 データの出典等 活動報告
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%		
成果指標 管理協定締結の箇所数 22箇所	9 箇所	11 箇所	9 箇所	15 箇所	22 箇所	目標設定の考え方 管理体制整備計画に基づきH26年までに2土地改良区の合計22箇所の管理協定を締結する。 データの出典等 活動報告
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			81.8 %		
決算額、予算額 (千円) うち一財額	70,500 17,627		63,450 15,864	66,324 17,182	64,546 16,737	成果指標によらない成果 農業水利施設の見学や防水訓練用水の提供等により、施設の持つ多面的機能の認識が図られている。
所要時間(直接分)	44 時間		44 時間	44 時間	44 時間	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	44 時間		44 時間	44 時間	44 時間	
人件費1人1単位:千円 (@2,050円×所要時間)	90		90	90	90	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

**活動量と成果の判断 (平成24年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 管理協定を締結する2改良区すべてにおける推進啓発は22回実施(達成率100.0%)するとともに、施設の操作運転点検整備等も2改良区(達成率100.0%)で実施しており、予定どおりの活動量があった。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること H24年度においては、管理協定締結箇所が9箇所、達成率81.8%となっている。また、小学校の校外学習(施設見学会)の開催や消防団の放水訓練に際し用水の提供を行うなど、施設の多面的機能が地域に再認識されており、意図した成果はほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

**見直しの必要性 (平成26年度に向けた改善等の考え方)**

**一次評価 (担当部評価結果)**

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	未締結施設については、これまでも地元と協議を行ってきており、多面的機能についての認識は得られている、協議時間の不足や地区役員の交代等により、地元の意見調整に不足の期日を要したこと、H24年度には締結数を増やすことが出来なかった。協定締結に至っていない地区・団体に対しては、時期を早めるなどにより協議回数を増やす、市町村と協働して働きかけるなど、地域の事業理解をより深めてもらい、目標どおりの締結を図る。	1

・「以外の判断項目」の欄  
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

**二次評価 (担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価**

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

**見直しの方向 (平成26年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	協定締結に至っていない地区・団体に対しては、時期を早めるなどにより協議回数を増やす、市町村と協働して働きかけるなど、地域の事業理解をより深めてもらい、目標どおりの締結を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。